

# 2020年度 事業報告

## 【事業の概況】

### (A) 助成公演事業

音楽を志す人々の活動を支援するために、青山音楽記念館 バロックザール を使用し、条件を満たした演奏会を開催される方に、ホール使用料の約3分の2を助成しています。

#### 【実績】

2020年度 8公演 792,500円（1公演平均助成額 99,063円）

※新型コロナウイルス感染症防止のため延期及び中止 40公演

参考：昨年度は、55公演 5,461,900円（1公演平均助成額 99,307円）

### (B) 新人助成公演事業

青山音楽賞新人賞を希望する全ての人の金銭的な負担を軽減し、均等に演奏会開催の機会を持つことができるよう助成を行っています。ホール使用料や付帯設備使用料をはじめ、チラシやプログラムなど印刷費等を一定条件の下、財団が全額負担しています。ただし水、木、金曜日以外の新人賞参加者は新人助成対象になりません。（助成公演事業の対象）

#### 【実績】

2020年度 4公演 1,145,934円（1公演の平均助成額 286,484円）

※新型コロナウイルス感染症防止のため延期 10公演

参考：昨年度は、6公演 1,866,295円（1公演平均助成額 311,049円）

### (C) 顕彰事業

(1) 青山音楽賞（新人賞・青山賞・バロックザール賞の三賞の総称）。

財団が運営する青山音楽記念館バロックザールで、毎年1月から12月までの期間に開催された公演の中から選考、個人又は団体に授与します。

#### <新人賞>

演奏会当日25歳以下の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金100万円、音楽研修費200万円及び研修成果披露演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

#### <青山賞>

演奏会当日26歳以上の方による、個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会を対象に財団が選考し、2名以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金150万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

#### <バロックザール賞>

個人の独唱会・独奏会あるいは作曲作品発表会以外の演奏会を対象に財団が選考し、2組以内の受賞者を決定。各受賞者あたり、賞金200万円及び受賞記念演奏会の開催費用として係る費用の助成（上限50万円）。

## (2) 審査体制

青山音楽記念館 バロックザールで開催された公演で、音楽賞参加の申し込みのあった公演を対象に、各界より推薦された27名（内訳：審査委員8名、選考委員19名／2020年度末現在）の審査選考委員が原則として直接来館し、該当する演奏会を聴き、各選考委員が音楽賞候補者を推薦。その結果を基に審査委員会で審議して受賞者を選出し、理事会の承認を経て受賞条件の一つである授賞式の出席を確認した後、受賞者を決定します。

## (3) 青山音楽賞授賞式

2020年度第30回青山音楽賞授賞式は審査結果の通り開催なし。

## (4) 2020年度第30回 青山音楽賞 審査結果

<新人賞>

該当者なし

<青山賞>

該当者なし

<バロックザール賞>

該当者なし

## (5) 青山音楽賞 受賞記念演奏会／研修成果披露演奏会

### 【開催実績】

受賞記念演奏会

開催なし

※新型コロナウイルス感染症防止のため延期及び中止 4公演

研修成果披露演奏会

開催なし

※新型コロナウイルス感染症防止のため延期 2公演

## (6) 音楽研修

### 【実施実績】

新規研修なし

## (D) 貸ホール事業

音楽ホールの利用は助成公演が大半を占めますが、助成公演以外に、一般公演、音楽諸団体の発表会やリハーサルでの貸出、またレッスン室は音楽教室としての貸出や個人練習の場所提供等、音楽の裾野を広げ、音楽の発展のための事業も行なっています。なお、音楽目的以外の貸出しは行っておりません。

### 【稼働実績】

ホール：総稼働日数 150日（昨年度は89日）

レッスン室：5部屋の総稼働時間 9.5 時間（昨年度は 43.5 時間）

#### 2020 年度 ホール使用内訳

種別	利用日数
ホールリハーサル	129
一般公演	5
共催公演	1
新人研修成果披露演奏会	0
主催公演	1
受賞記念演奏会	0
授賞式	0
助成公演	8
奨学生成果披露演奏会	0
新人助成	4
発表会	2
総計	150

ホールリハーサル

ホール無料リハーサル貸し出し 期間 2020 年 7 月 9 日～12 月 27 日 113 件含む

#### (E) 主催公演事業

著名演奏家や将来有望と期待される演奏家の公演を主催し、音楽の普及に務めています。

(a) 主催公演

##### 【実績】

2020 年 12 月 12 日(土) 『川口成彦 フォルテピアノ レクチャーコンサート』

(チケット料金 一般 3000 円、学生 1,500 円)

※新型コロナウイルス感染症防止のため延期及び中止 7 公演

(b) 共催公演

常務理事会の決定により、ホール使用料等の演奏会開催経費を財団が負担する公演。

##### 【実績】

2021 年 2 月 25 日(木) 『京都市立京都堀川音楽高等学校 第 15 回ピアノコンサート』

(共催：京都市立京都堀川音楽高等学校／公益財団法人青山音楽財団)

#### (F) 育成支援事業

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対する支援を行います。

(a) 奨学金事業

##### 【事業内容】

音楽大学又は音楽学部 に在籍している優秀な大学生（1 年生～4 年生）に関して、奨学金をもって支援を行います。

### 【選考方法】

毎年1回、音楽学部のある大学の中から財団の理事会において指定校11大学を決定し、指定校に対して募集要項等を配付して公募を行います。指定校は、学内選考により推薦者を決定し、当該学生の推薦書・願書等を財団へ提出。財団の奨学金規程に基づき、学識経験者を含む当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会が決定。

### 【指定校】

音楽学部のある国公立大学4校及び私立大学より7校を指定。私立大学については、レベルの保持のために、過去に財団の青山音楽賞の受賞者が関係する大学等により指定。

### 【支給対象者及び支給額】

支給対象者（人数）…音楽大学又は音楽学部にて在籍している大学生 45名程度／1年  
支給額…年間60万円（月額5万円）／1名

### 【給付方法】

原則として1名に対する支給期間は1年とするが、最長4年まで継続可

### 【成果発表】

奨学金支給学生は奨学金支給終了時に特別の事情がない限り、財団の指定する時期に、青山音楽記念館 バロックザールで開催する奨学生成果披露演奏会で発表を行います。

### 【実績】

本年度は、東京藝術大学、東京音楽大学、桐朋学園大学、国立音楽大学、武蔵野音楽大学、愛知県立芸術大学、京都市立芸術大学、同志社女子大学、大阪音楽大学、相愛大学、沖縄県立芸術大学を指定しました。各大学に奨学生募集要項と応募書類様式を送付し、学内での公募を経て極めて優秀な学生を学内オーディションや教授会等にて選考。2020年4月1日～5月8日までを申請受付期間とし、各大学から奨学生を推薦いただきました。2020年5月22日に当財団の育成支援事業選考委員会における審議を経て、2020年6月5日の理事会にて合計45名の奨学生を決定しました。

### （内訳）

- ・東京藝術大学 15名  
（作曲1名、声楽3名、ピアノ2名、チェンバロ1名、弦楽器3名、管楽器3名、邦楽2名）
- ・東京音楽大学 2名（ピアノ1名、打楽器1名）
- ・桐朋学園大学 4名（声楽1名、ピアノ2名、弦楽器1名）
- ・国立音楽大学 1名（管楽器1名）
- ・武蔵野音楽大学 1名（ピアノ1名）
- ・愛知県立芸術大学 4名（声楽1名、ピアノ1名、弦楽器1名、管楽器1名）
- ・京都市立芸術大学 9名  
（作曲1名、ピアノ2名、弦楽器2名、打楽器1名、声楽2名、音楽学1名）
- ・同志社女子大学 1名（管楽器1名）

- ・大阪音楽大学 2名（管楽器1名、ピアノ1名）
- ・相愛大学 4名（弦楽器1名、管楽器3名）
- ・沖縄県立芸術大学 2名（ピアノ1名、管楽器1名）

奨学生 45名の一年間の成果発表の場として、当財団の主催公演「第8回公益財団法人青山音楽財団 奨学生成果披露演奏会 ～若き音楽家たちによる音の祭典～」を2021年3月13日（土）、3月14日（日）、3月21日（日）に、青山音楽記念館 バロックザールにて入場料無料で実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催中止とし、奨学生 45名から演奏もしくは発表を収録した10分程度の動画を当財団宛に提出としました。

(b) 学校等支援事業

【事業内容】

大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対し、学生・生徒等がより充実した音楽活動を行いやすい環境をつくるための支援事業を行います。

【選考方法】

毎年1回、チラシ・ホームページ等で、大学の音楽学部、高校の音楽科及びその他の音楽教育機関等に対して音楽支援希望を公募。応募団体等に対して財団指定の申請書の提出を求め、当財団の育成支援事業選考委員会の審議を経て、理事会にて決定。

【支援内容】

年間総額300万円以内で、1応募に対して上限300万円の支援を行います。

【報告】

実施事業の報告書を、事業終了後1ヶ月以内に提出いただきます。

【実績】

2020年度第9回学校等支援事業は、2020年4月1日から2021年3月31日に実施される事業を対象に出願期間を2019年11月1日から11月30日とし、チラシ・ホームページ等で公募。2019年12月12日に当財団の育成支援事業選考委員会にて審議し、2020年1月17日の理事会にて下記の5件を決定。

	団体名	支援金支払額 (単位：円)
1	関西の音楽大学オーケストラフェスティバル IN 京都コンサートホール実行委員会"	0
2	公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	500,000
3	プロジェクトQ実行委員会	850,000
4	エリザベト音楽大学	1,000,000

5	オーケストラ・アヴァン＝ギャルド	84,083
支援金支払 合計額		2,434,083

※関西の音楽大学オーケストラフェスティバル IN 京都コンサートホール実行委員会は支援金 50 万円で採択されたが、新型コロナウイルスの影響により公演中止となり、支払い無し。

## 2 会議に関する事項

### 1) 理事会

- 第 58 回理事会 2020 年 6 月 5 日開催
- 第 59 回理事会 2020 年 6 月 27 日開催
- 第 60 回理事会 2021 年 1 月 26 日開催
- 第 61 回理事会 2021 年 3 月 17 日開催

### 2) 評議員会

- 第 24 回評議員会 2020 年 6 月 27 日開催

<事業報告の附属明細書>

2020 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。